

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	今後さらに地域密着サービスとしてのホームのあり方について検討する。	利用者様の地域での暮らしを再度職員が理解し、地域で生活していることを、認識して頂き安心していただく。	夢を叶える企画が2年目となり今後も全利用者様の生活に密着した夢や希望を探り実現していく。	12ヶ月
2	6	安全面の配慮から日中の玄関の鍵は閉めている。利用者様は自由に開ける事は出来るが職員、家族等話し合いを持ち開放する意味をしっかりとふまえ対策を考えたい。	時間を決め開放し暖かくなれば外でおやつなど召し上がっていただき、今までの暮らしの中の玄関の様子と同じような認識を持って頂く。	開放し、散歩やひなたぼっこなどをして頂く。職員の認識を統一する。	3ヶ月
3	40	利用者様と同じ昼食を楽しめるように検討する。	昼食の時間は職員と同じなので、利用者様と同じ食の話題にて楽しく昼食時間を過ごす。	利用者様に寄り添い食を共にし、食について話すをすることで楽しい時間を過ごす。昼食の時間について職員の意識を統一する。	1ヶ月
4	45	入浴日や時間帯が決められている。習慣や希望に応じて入浴を検討する。	個別入浴であるが、習慣や希望を配慮し職員の見守りが可能な限り入浴をして頂く。	ご本人の習慣や入浴に対しての思いなどを把握し、出来る限希望の時間に入って頂けるよう取り組みたい。現在のところ入浴に関しては、満足されているように思う。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。